

平成20年度

かほく市教育委員会
点検及び評価報告書

平成21年12月

かほく市教育委員会

はじめに

この報告書は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第27条の規定に基づき、平成20年度のかほく市教育委員会の活動を振り返るとともに、教育委員会が毎年示す「かほく市の教育」の重点目標を達成するための具体的施策について、自ら事務事業の点検・評価を行い、教育に関し学識経験を有する方々からの意見もいただいて作成したものです。

かほく市教育委員会は、心豊かで創造性に富む人づくりを目指すため、創造力と生きがいを育む教育の推進に努力してまいります。

平成21年12月

かほく市教育委員会

かほく市の教育（平成20年度）

教育方針

海とみどりに抱かれた「やすらぎ」と「うるおい」のあるまちを愛し、心豊かで創造性に富む人づくりを目指すため、家庭・学校・地域がそれぞれの役割を担い、かつ連携を深め、創造力と生きがいを育む教育を推進する。

学校教育目標

将来のかほく市を担う心豊かでたくましい児童生徒の育成を目指す。

重点事項

- ・ 基礎基本の定着と活用力の向上
- ・ 道徳教育と人権教育の推進
- ・ 健康、体力向上を育む教育の充実
- ・ 開かれた学校と特色ある学校経営の推進
- ・ 教職員の研修の充実と資質の向上

生涯教育目標

「かほく市生涯学習推進計画」に基づき、社会性を育み、個々が生きがいを持ち、共に学びあい支えあう生涯学習社会の実現を目指す。

重点事項

- ・ 家庭教育力の向上を図るための学習活動の推進
- ・ 地域教育力の向上にむけたコミュニティ活動の活性化
- ・ 豊かな心を育むための青少年教育の推進
- ・ 男女共同参画社会の実現に向けた啓発活動の推進
- ・ 国際社会に対応するための国際理解教育の推進
- ・ 生きがいづくりに向けた文化活動の推進
- ・ 子どもの豊かな心を育むための読書活動の推進

スポーツ振興目標

「かほく市スポーツ振興計画」に基づき、市民一人一人が自主的にスポーツに取り組み、健康で豊かな生活ができるよう生涯スポーツの実現を目指す。

重点事項

- ・ 生涯スポーツ活動の推進
- ・ 児童生徒の体力・運動能力の向上
- ・ 競技スポーツの充実・強化
- ・ スポーツ施設の整備・充実

目 次

1	教育委員会の活動状況	1
	(1) 教育委員会会議の開催状況	1
	(2) 教育委員会会議の審議状況	1
	(3) 教育委員の主な活動状況	3
2	事務の点検及び評価	4
	施策1 将来のかほく市を担う心豊かでたくましい児童生徒の育成 を目指して【学校教育課・教育センター】	
	1 基礎基本の定着と活用力の向上	5
	2 道徳教育と人権教育の推進	6
	3 健康、体力向上を育む教育の充実	7
	4 開かれた学校と特色ある学校経営の推進	8
	5 教職員の研修の充実と資質の向上	8
	6 就学環境の向上による学校教育の推進	9
	施策2 社会性を育み、個々が生きがいを持ち、共に学びあい支えあう 生涯学習社会を目指して【生涯学習課】	
	1 家庭教育力の向上を図るための学習活動の推進	11
	2 地域教育力の向上にむけたコミュニティ活動の活性化	12
	3 豊かな心を育むための青少年教育の推進	14
	4 男女共同参画社会の実現に向けた啓発活動の推進	15
	5 国際社会に対応するための国際理解教育の推進	15
	6 生きがいづくりに向けた文化活動の推進	16
	7 子どもの豊かな心を育むための読書活動の推進	17
	8 地域文化を育み、郷土愛を培う活動の推進	18
	施策3 市民一人一人が自主的にスポーツに取り組み、健康で豊かな 生活ができるよう生涯スポーツの実現を目指して【体育振興課】	
	1 生涯スポーツ活動の推進	20
	2 児童生徒の体力・運動能力の向上	21
	3 競技スポーツの充実・強化	22
	4 スポーツ施設の整備・充実	24
	資料	25

1 教育委員会の活動状況

(1) 教育委員会会議の開催状況

教育委員会会議については、原則として毎月1回「教育委員会定例会」を開催し、平成20年度は定例会を12回開催しました。

(2) 教育委員会会議の審議状況

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第23条に定める職務について、同法第26条及び「かほく市教育委員会事務委任規則」の規定に基づき、平成20年度は35件について審議しました。

平成20年度教育委員会会議開催状況

回(開催日)	審議決定事項
平成20年第4回 (平成20年 4月24日)	議案第27号 かほく市教育委員会委員長の選挙について 議案第28号 かほく市教育委員会委員長職務代理者の指定について 議案第29号 かほく市教育委員会教育長の任命について 議案第30号 指定学校の変更に係る審査基準及び標準処理期間の一部改正について 報告事項 ・ 平成20年度主な新規及び継続(国・県・市)事業について
平成20年第5回 (平成20年 5月23日)	議案第31号 かほく市生涯学習センター条例施行規則の一部改正について 議案第32号 かほく市勤労青少年ホーム条例施行規則の一部改正について 議案第33号 平成20年度準要保護児童生徒の認定について 報告事項 ・ 委員の確定について(かほく市就学指導委員外12件) ・ 平成20年度第1回かほく市社会教育委員会議会議結果報告について
平成20年第6回 (平成20年 6月26日)	議案第34号 平成20年度準要保護児童生徒の追加認定について 報告事項 ・ 中学校加賀地区大会結果について ・ 新規ALTの採用について ・ 第21回JAPAN TENT事業について ・ 平成20年度姉妹都市交流事業(青少年派遣)について ・ (仮称)かほく市地域ぐるみの学校支援推進事業への取り組みについて ・ 懸案事項市長ヒアリング結果について
平成20年第7回 (平成20年 7月25日)	議案第35号 平成21年度使用小学校教科用図書を選定について 報告事項 ・ 平成20年度第2回かほく市社会教育委員会議会議結果報告について ・ 学力テストの結果について(全国・県・市学力調査) ・ 石川県中学校体育大会の結果について ・ 平成20年度姉妹都市交流事業(青少年派遣)について ・ 第21回JAPAN TENT事業について ・ 第60回石川県民体育大会応援体制について

回（開催日）	審議決定事項
平成20年第8回 (平成20年 8月21日)	議案第36号 かほく市学校教職員用コンピュータ機器利用規程について 報告事項 ・ 北信越中学校総合競技大会の結果について ・ 石川県民体育大会について
平成20年第9回 (平成20年 9月25日)	議案第37号 「かほく市教育委員会表彰規程第9条の規定による教育委員会が別に定める事項」の一部改正について 議案第38号 平成20年度教育委員会被表彰者の決定について 議案第39号 平成20年度準要保護児童生徒の追加認定について 報告事項 ・ 全国中学校体育大会の結果について ・ 第5回かほく市生涯学習フェスティバルについて ・ 平成20年度石川県西田幾多郎記念哲学館「特別企画」について ・ 第5回かほく市成人式について
平成20年第10回 (平成20年10月24日)	報告事項 ・ 平成20年度第3回かほく市社会教育委員会議会議結果報告について ・ 第5回かほく市立志式について ・ 平成20年度河北郡市中学校新人体育大会結果について ・ 平成20年度かほく市教育委員会表彰被表彰者の決定について（追加）
平成20年第11回 (平成20年11月26日)	議案第40号 平成20年度準要保護児童生徒の追加認定について
平成20年第12回 (平成20年12月19日)	議案第41号 平成20年度準要保護児童生徒の追加認定について 議案第42号 石川県西田幾多郎記念哲学館条例施行規則の一部を改正する規則について 報告事項 ・ 平成20年度かほく市就学指導委員会の結果について ・ 平成20年度第4回かほく市社会教育委員会議会議結果報告について ・ 平成20年度姉妹都市交流事業（青少年派遣）の報告について
平成21年第1回 (平成21年 1月29日)	議案第1号 かほく市立学校管理規則の一部を改正する規則について 議案第2号 平成20年度準要保護児童生徒の追加認定について 報告事項 ・ 第5回かほく市成人式参加状況集計表について
平成21年第2回 (平成21年 2月20日)	議案第3号 かほく市教育委員会委員長の選挙について 議案第4号 かほく市教育委員会委員長職務代理者の指定について 議案第5号 かほく市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則について 議案第6号 かほく市地域教育力活性化実行委員会設置要綱の制定について 議案第7号 高松地域教育力活性化本部設置要綱の制定について 議案第8号 七塚地域教育力活性化本部設置要綱の制定について 議案第9号 宇ノ気地域教育力活性化本部設置要綱の制定について 報告事項 ・ 平成20年度第5回かほく市社会教育委員会議会議結果報告について ・ 平成21年度姉妹都市交流事業について

回（開催日）	審議決定事項
平成21年第3回 (平成21年 3月24日)	議案第10号 かほく市教育方針について
	議案第11号 石川県西田幾多郎記念哲学館条例施行規則の一部を改正する規則について
	議案第12号 かほく市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則について
	議案第13号 学校医・学校歯科医・学校薬剤師の委嘱について
	議案第14号 かほく市就学指導委員の委嘱について
	議案第15号 かほく市学校給食センター運営委員の委嘱について
	議案第16号 少年愛護センター少年愛護員の委嘱について
	議案第17号 学校施設管理員の任命について
	議案第18号 かほく市社会教育関係団体への補助金交付について
	議案第19号 平成21年度学校訪問実施要項について
報告事項	<ul style="list-style-type: none"> ・平成21年度教育部予算概要について ・平成21年度嘱託職員の新規採用について ・平成20年度第6回かほく市社会教育委員会議会議結果報告について

（3）教育委員の主な活動状況

教育委員が出席した活動等

年月日	活動内容
平成20年 4月 4日	平成20年度初任、新任教職員辞令交付式
平成20年 4月 7日	平成20年度かほく市立小中学校入学式
平成20年 4月21日	石川縣市町教育委員会連合会第1回理事会
平成20年 5月 8日	平成20年度河北郡市教育委員会連合会定期総会
平成20年 5月 9日	平成20年度石川縣市町教育委員会連合会定期総会
平成20年 6月 1日	第5回かほく市総合体育大会
平成20年 6月26日	かほく市教育委員会前期学校訪問(高松小学校、宇ノ気小学校、宇ノ気中学校)
平成20年 6月27日	かほく市教育委員会前期学校訪問(外日角小学校、高松中学校、河北台中学校)
平成20年 7月 7日	かほく市教育委員会前期学校訪問(大海小学校、七塚小学校、金津小学校)
平成20年 7月18日	第60回石川県民体育大会出場選手壮行会
平成20年 7月30日	石川縣市町教育委員会セミナー
平成20年 8月 2日	第60回石川県民体育大会
平成20年 9月 6日	中学校運動会(高松中学校、河北台中学校、宇ノ気中学校)
平成20年 9月13日	小学校運動会(高松小学校、七塚小学校、外日角小学校、宇ノ気小学校)

年月日	活動内容
平成20年 9月20日	小学校運動会(金津小学校)
平成20年 9月27日	小学校運動会(大海小学校)
平成20年10月10日	平成20年度石川縣市町教育委員会連合会研究大会
平成20年10月16日	平成20年度東海北陸六縣市町村教育委員会連合会理事総会、研究協議会
平成20年11月 1日	平成20年度かほく市教育委員会表彰式
平成21年 1月11日	第5回かほく市成人式
平成21年 2月 3日	第5回かほく市立志式
平成21年 2月12日	かほく市教育委員会後期学校訪問(大海小学校、外日角小学校、宇ノ気中学校)
平成21年 2月17日	かほく市教育委員会後期学校訪問(七塚小学校、宇ノ気小学校、金津小学校)
平成21年 2月20日	かほく市教育委員会後期学校訪問(高松小学校、高松中学校、河北台中学校)
平成21年 3月13日	平成20年度かほく市立中学校卒業式
平成21年 3月18日	平成20年度かほく市立小学校卒業式
平成21年 3月26日	平成20年度かほく市立小・中学校教職員離任式

2 事務の点検及び評価

(1) 点検及び評価の対象

点検及び評価の対象は、「かほく市の教育方針」に基づき平成20年度に実施した具体的な施策とします。

(2) 点検及び評価の方法

点検及び評価は、施策に基づく事業内容と実績を明らかにするとともに、成果と課題などを示しています。

また、点検及び評価にあたっては、教育に関し学識経験を有する方として、旧高松町教育長及びかほく市教育長を経験された吉寄奨氏と旧宇ノ気町教育長及びかほく市教育委員を経験された宮前昭夫氏から様々な意見や助言を得ました。

主な意見としましては、学校経営における PDCA サイクル推進、幼保小及び小中連携の更なる充実、道徳教育の重要性の認識向上、市民憲章推進事業の広がりへの工夫、市民に親しまれ利用しやすい生涯学習施設及び体育施設のあり方など多岐にわたりました。

この意見なども踏まえて、今後の教育行政において創意工夫を図り、かほく市の教育を推進していきます。

施策1 将来のかほく市を担う心豊かでたくましい児童生徒の育成を目指して

【学校教育課・教育センター】

1 基礎基本の定着と活用力の向上

主な 取り 組み	<p>(1) 市学校教育研究事業（600千円）</p> <p>校内研究を深め、学校教育の振興及び児童生徒の学力の向上を推進した。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 宇ノ気小学校（平成20～21年度：市指定） 研究主題 「学ぶ意欲を育てる授業の創造」 副 題 - 教えて考えさせる授業を通して -・ 高松中学校（平成19～20年度：国・県・市指定） 研究主題 「自ら学ぶ力を育む学習活動の創造」 副 題 - 認め合い高め合う授業を通じた人権意識の育成 - 発表期日 平成20年11月21日（金） <p>(2) 児童生徒の「活用力」向上モデル事業（402千円）</p> <p>児童生徒の知識・技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力などを高めるための方策について実践研究を行った。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 外日角小学校（平成20～21年度） 研究主題 「自ら考え、学び合う子どもをめざして」 副 題 - 書くことを通して -・ 宇ノ気中学校（平成20～21年度） 研究主題 「意欲を持って学習に取り組む生徒の育成」 副 題 - 基礎・基本の定着と表現力をつける指導法の工夫 - <p>(3) 小学校補充学習サポーター派遣モデル事業（320千円）</p> <p>児童の学習意欲を高めることを目的として、放課後に外部講師2人が補充学習を希望する3年生（週1回）・4年生（週2回）を対象として算数の補充学習を行った。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 七塚小学校（平成20～21年度） <p>(4) 学力調査の実施（1,217千円）</p> <p>国・県の学力調査に加え市独自の調査として、小学校5年生（国語・算数）、中学校1年生（国語・数学・理科）、中学校2年生の（国語・数学・英語）について実施することによって児童生徒の学力を把握し、的確な指導を推進した。</p> <p>(5) 特別支援教育体制の推進（11,568千円）</p> <p>特別支援学級配置校において、児童の障害に応じて支援員を8人（宇ノ気小5人、七塚小1人、外日角小1人、高松小1人）配置し、学級活動に必要な支援を行った。</p> <p>生徒の悩み事の相談を受けるために心の教育相談員3人を週3回各中学校に配置し、相談者に適切な助言を行った。（相談件数491件）</p> <p>生徒の臨床心理に関する専門家として、スクールカウンセラー3人を週1回各中学校へ派遣し、相談者や関係者に対して問題解決への指導・助言を行った。（相談件数213件）</p> <p>(6) 小学校英語活動及び中学校英語教育の充実（15,396千円）</p> <p>市内小中学校の英語活動及び英語授業を推進するため、外国青年招致事業による外国語指導助手3人を配置した。</p> <p>校内研修会上越教育大学准教授石濱博之氏（6回）、中学校区別研修会に松山大学教授金森強氏（3回）、金沢教育事務所指導主事松田英樹氏（3回）を講師として派遣した。</p>
----------------	---

評価	<p>各事業の実施による基礎・基本の学力向上に加えて、活用力の向上の取り組みも推進することができた。今後は、学力調査などの結果を踏まえて学力実態の把握・分析を進め、「生きる力」の更なる向上を目指して、きめ細やかな教育の実施に努めていく。</p> <p>特別支援教育の支援員の配置は、児童生徒の安定した学校生活に必要な不可欠であり、今後も各学校の実態に即した配置を行う必要がある。また、市就学指導委員会が当該児童生徒の現状を見極め、個に応じた指導・支援が図られている。</p> <p>外国語指導助手の活動は、中学校の英語指導助手として、また、小学校の英語活動を推進するために一層の充実を図っていく必要がある。また、外部講師を招いての研修会の実施により小学校の英語活動の指導法の習得を図っており、各小学校児童の「聞く力」の調査結果でも、成績が毎年向上してきた。今後も継続して実施する必要がある。</p>
----	---

2 道徳教育と人権教育の推進

主な取り組み	<p>(1) 共通道徳への取り組み 河北台中学校をモデル校とし、西田幾多郎博士を題材とした道徳の実践に向けての調査研究を行った。</p> <p>(2) 学校図書館司書の配置（10,823千円） 全小学校に学校図書館司書5人（うち1人は大海小学校と金津小学校を兼務）を配置し、10回の図書館司書研修会で共通理解を図り、子どもたちの読書生活を豊かにするとともに、課題解決学習などの有効活用を促進した。</p> <p>(3) 芸術鑑賞推進事業（968千円） 優れた舞台芸術を鑑賞することによる豊かな情操の涵養を図るため、宇ノ気中学校でオーケストラアンサンブル金沢の演奏会を、高松小学校及び大海小学校低学年を対象としてオペレッタ劇団ともしびによる「金剛山のトラたいじ」の鑑賞を、宇ノ気小学校及び金津小学校高学年を対象として古典芸能鑑賞教室を実施した。</p> <p>(4) 人権教育推進事業（200千円） 豊かな心を育み、人権意識を高めることを目的として、劇団民話芸術座「河童の笛」、永村幸治とコナカデノブエのコンサート「いじめと向かい生きる」を金津小学校で実施した。</p>
--------	--

評価	<p>道徳において、本市出身の哲学者である西田幾多郎博士を取り上げ、氏の生き方に学ぶことにより児童生徒の道徳心を涵養することは、心の教育の一環として有効であることから、次年度から市内全ての小中学校の児童生徒を対象に共通道徳として実施していく。</p> <p>子どもの読書活動を推進するためには、図書館司書の役割が重要であり、資料の収集や整理を行い、リファレンス活動を推進するとともに、市立図書館との連携や司書研修などの充実にも努めた。小学校での図書の貸出冊数も増加しており、子どもの意欲的な読書活動推進に寄与した。なお、今後は中学校への司書派遣や蔵書数の充実を図っていく必要がある。</p> <p>芸術鑑賞及び人権教育を推進することは、次代を担う子供たちの豊かな心を育み、思いやりの心を涵養することから、対象校を選定しつつ継続して実施することが重要である。</p>
----	--

3 健康、体力向上を育む教育の充実

主な 取 組 み	<p>(1) 体力向上推進 児童のスポーツに対する関心を高めることを目的として、県が推進するスポチャレいしかわへ市内小学校登録目標100%を達成した。</p> <p>(2) 大会出場派遣事業(7,558千円) 県大会、北陸信越大会、全国大会などに出場する中学校の部活動に対して、交通費などを補助し、部活動の振興を図った。</p> <p>(3) 食育教育の推進 児童生徒の食に関する知識と食を選択する力を育成するために、給食便りの発行や栄養教諭などによる食育教育の推進に加えて、児童生徒が稲作、かぼっくり、紋平柿などの農業体験や生産者との交流会なども実施した。</p> <p>(4) 学校給食事業(278,898千円) 成長期にある児童生徒にバランスのとれた安全・安心な食事を提供するとともに、保護者を対象とした試食会の開催や地産地消への取り組みとして地元産材の活用を行った。</p> <p>(5) 教育相談事業(200千円) 不登校やいじめなどの電話相談、臨床心理士による教育相談を行った。 (来所 72件、出張 70件、電話 34件) 教育支援センター「すまいる」は、児童生徒(10人)の心のケアをしつつ学級への復帰を支援した。</p> <p>(6) 問題を抱える子ども等の自立支援事業(650千円) 臨床心理士(木場清子氏)、社会福祉士(松村和雄氏)による保護者・教職員への指導助言を行った。 学生ボランティア(7人)などが相談室などを通じて不登校児童生徒の学級復帰を支援した。</p>
-------------------	---

評 価	<p>全国体力・運動能力調査の結果の分析を進め、より効果的な体育授業や部活動指導を推進する必要がある。また、部活動の大会派遣補助事業の実施により保護者負担を軽減し、部活動の活性化を推進することができ、学校体育の振興を図ることができた。</p> <p>平成21年度からのかほく市食育推進計画の実施に向け、学校現場で様々な食育推進に資する事業を行っており、市民憲章推進本部が実施している「早寝 早起き 朝ごはん運動」の更なる推進のために、家庭、地域、学校との連携による基本的な生活習慣の改善にも取り組んでいく必要がある。</p> <p>学校給食においては中国産食品を国内産に切り替えるなど、食の安全に細心の注意を払いつつ給食事業を実施できた。今後も学校給食を通じて児童生徒の食に関する適切な判断力を涵養し、健康で豊かな人間を育む基礎となる取り組みを推進する必要がある。また、アレルギーのある児童生徒に対して十分な配慮を行うため、家庭と更なる連携をとっていく必要がある。</p> <p>教育支援センターの事業については、通室生の生活や学習課題に対応する学習プログラムの構築や通室に係る交通手段などの課題もあるが、指導員、学校、家庭との密接な連携を行うことが重要である。また、通室生が増加傾向にあることから、更に適切な支援体制の充実が求められている。</p>
--------	---

4 開かれた学校と特色ある学校経営の推進

主な取り組み	<p>(1) 学校評価の実施 各学校の目標達成状況や達成に向けた取り組みの適切さについて評価することにより学校として組織的・継続的に改善を行った。</p> <p>(2) 学校支援委員会の設置 地域の有識者による学校支援委員会を全ての学校に設置し、学校運営に関して助言などを行うことによって学校を支援した。</p>
--------	--

評価	<p>学校経営について、学校関係者による評価を受け、必要な改善を行うことは、より開かれた学校を推進する上で必要不可欠となる。また、学校支援委員会による様々な助言を学校運営に活かすことにより地域と学校の密接な連携を促進し、地域に根ざした学校の運営を促進することとなるので、引き続き強化し実施していく。</p>
----	---

5 教職員の研修の充実と資質の向上

主な取り組み	<p>(1) かほく市指定研究（ 1 基礎基本の定着と活用力の向上(1)市学校教育研究事業に含む） 学校教育研究校を指定（宇ノ気小学校、高松中学校）し、指導方法の向上について研究を行い教職員の共通理解を深めた。</p> <p>(2) 校内研修の充実 県教育委員会との連携により実施し、教職員の資質向上を図った。</p> <p>(3) 指導主事学校訪問 学校の指導方針に基づく実際の授業の進め方などについて、指導主事が直接学校に対し指導・助言を行った。</p> <p>(4) 市学校教育研究会（650 千円） 教職員が教育課程研究部会などの 8 部会を組織し、学校教育のあり方などについて研究し、県外視察及び教職員研修会の実施により本市の学校教育の向上を推進した。</p> <p>(5) 市教育センターによる研修会（197 千円） 教職員の質を高めることを目的に教育講演会（藤原和博氏）、新任教職員研修（1 回）、学力向上研修（6 回）、小学校英語活動研修（12 回）などを実施した。</p>
--------	---

評価	<p>指定研究の実施で得られた成果を発表会などにおいて公開することにより他校の教職員への指導方法の向上や共通理解に資することができた。また、効果的な指導法を習得し授業に活かすため、次年度もより充実した取り組みを継続して実施していく必要がある。</p> <p>指導主事訪問、学校教育研究会、教育センターによる研修会を通じて様々な課題に対する指導法を習得するなど教職員の資質の向上を図ることができた。今後は、学校教育研究会との連携を更に深め、先進地の事例なども収集し、効果的な研修形態を構築していく必要がある。</p>
----	---

6 就学環境の向上による学校教育の推進

主な 取 組 み	<p>(1) 要・準要保護児童就学援助事業（18,787 千円） 経済的理由によって就学が困難と認められる児童生徒 295 人の保護者に対して、学校に係る費用の一部を援助した。</p> <p>(2) 特別支援教育就学奨励費補助金（605 千円） 特別支援学級に就学する児童生徒 24 人の保護者の経済的負担を軽減し、特別支援教育に資するための費用の一部を助成した。</p> <p>(3) 幼児教育補助金（16,768 千円） 保護者の負担軽減のため、所得に応じて幼稚園就園奨励金を 172 人に交付した。 幼児教育振興のため、市内私立幼稚園 2 園（木津幼稚園、うのけ幼稚園）に対して運営補助金を交付した。</p> <p>(4) 育英奨学補助金（1,493 千円） 経済的事情により就学が困難な高校生 15 人に奨学資金を支給した。</p> <p>(5) 学校施設整備事業 高松小学校整備事業（2,573 千円） ・ 水泳プールの改修に向けての実施設計業務を委託した。 大海小学校整備事業（2,258 千円） ・ 屋内運動場の耐震診断・耐震補強計画及び実施設計業務を委託した。 外日角小学校整備事業（246,683 千円） ・ 校舎及び屋内運動場の耐震補強工事を施工した。 高松中学校整備事業（44,907 千円） ・ テニスコートの整備、ネットフェンス、受電設備の更新工事を施工した。 宇ノ気中学校整備事業（714 千円） ・ 屋外運動場の防球ネットの高上げ工事を施工した。</p> <p>(6) スクールバス運行事業（10,958 千円） スクールバス 4 台を運行し、宇ノ気小学校、金津小学校、大海小学校の遠方児童を送迎した。 校外活動などの学校行事、各種大会などへ児童生徒の送迎にスクールバスを活用した。</p> <p>(7) 生徒通学用安全着補助事業（367 千円） 通学時の安全を向上させるため、自転車通学を行う中学校生徒のヘルメットなどの購入費用の一部を補助した。</p> <p>(8) 安全安心のための取り組み 各小中学校において、登下校に関する児童生徒の安全確保のため、地域住民や P T A の協力による学校安全ボランティアなどの活動により登下校の安全を確保した。 学校安心メールの登録を呼びかけ、必要な情報を発信した。</p>
-------------------	--

経済的理由で就学が困難な児童生徒へ必要な援助を行うことにより円滑な義務教育の実施を図ることができた。特別支援教育に係る補助も含めて安定した就学の保障を行うことは、教育の機会均等の精神に基づくものであることから、今後も継続して実施していく必要がある。

幼児教育補助金の実施により幼稚園教育の普及充実を図ることができた。保護者のニーズに応じた保育園、幼稚園の体制を今後も維持していくためにも必要となる。

育英奨学補助金により高等学校などの就学を支援することができた。また、受給者は受給の要件である学業成績の維持にも努めることとなり修学の向上が図られた。

外日角小学校の耐震補強工事を施工するとともに、市内で唯一耐震化がなされていない大海小学校屋内運動場の耐震補強工事に向けて実施設計を行い、市内小中学校耐震化100%に向けて準備を進めた。その他、学校施設において必要となる改修や整備についても随時実施し、安全な就学環境を維持することができた。

遠隔地の児童へのスクールバスによる送迎に加えて、地域住民による見守りを実施したことによって児童生徒の登下校時の安全・安心が図られた。但し、取り組みには学校によって違いが見られ、今後は各学校の実態に即した対策を講じる必要があり、また、学校安心メールの登録率を向上するための更なる周知活動を実施する必要がある。

施策2 社会性を育み、個々が生きがいを持ち、共に学びあい支えあう
生涯学習社会を目指して

【生涯学習課】

1 家庭教育力の向上を図るための学習活動の推進

主な取り組み	<p>(1) 市民憲章推進本部事業（生涯学習推進事業の一部） 「早寝 早起き 朝ごはん運動」を展開した。</p> <p>(2) 親子ふれあい事業（生涯学習推進事業の一部） コンサートを開催した。 ・ 親子ふれあいコンサート 3回 ・ クリスマスコンサート 1回 親子歴史体験教室を開催した。 親子天体観測教室を開催した。</p>
--------	--

評価	<p>「コンサート」の開催、各種親子体験教室、「早寝 早起き 朝ごはん運動」の展開など、親子が一緒に参加する事業や取り組みを実施し、親子のコミュニケーションや絆を深め、「子どもの社会性を育む学びの場としての家庭」、「子どもの心の居場所としての家庭」の機能を高める事業を進めた。</p> <p>特に親子ふれあい事業の参加者（保護者）の声を聴く限り、当該事業が親子のコミュニケーションと絆を深める良い機会となったものと考えており、深い絆をもった親子関係の促進は、家庭教育力の向上につながるものと考えている。</p> <p>今後も、家族のコミュニケーションの促進を図り、連帯感を強めるような取り組みを展開していきたいと考えている。</p> <p>また、「早寝 早起き 朝ごはん運動」の推進にあたっては、各種団体や学校・地域との一体的連携による運動を進めていくことが、より大切と考えている。</p>
----	---

2 地域教育力の向上にむけたコミュニティ活動の活性化

主 な 取 り 組 み	<p>(1) 公民館運営費(12,409千円)</p> <p>市内各地区(七塚・宇ノ気地域)の公民館活動を推進するため、運営費補助金を交付した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域づくり推進事業補助金(16件) <p>各中学校区単位で、社会教育的あるいは生涯学習的事業を展開し、地域の連帯の強化や地域力の向上を図った。</p> <p>【高松地域】 ・子ども太鼓教室 22回 ・子ども囲碁教室 42回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ウィークエンドサークル(大海地区) 8回 ・ 高齢者教室(お達者くらぶ) 3回 ・ 通学合宿 平成20年10月8日(水)～11日(土) <p>【七塚地域】 ・七塚地区公民館グラウンド・ゴルフ大会開催 ・子どもかるた教室 10回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 夏休みお楽しみ教室 4回 ・ 高齢者講座(ふれあい大学) 4回 <p>【宇ノ気地域】 ・宇ノ気中学校区市民交流(カローリング)大会開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子ども煎茶教室 11回 ・ ゆめまなび大学夏期講座 11回 ・ 花てまり作り教室 3回 <p>放課後子ども教室推進事業として学校・地域・家庭との連携により放課後の子どもたちの異学年交流を図りながら体験活動を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校単位で6教室開催 ・ 登録者数: 293人 年実施回数: 160回 <p>(2) 公民館一般管理費(15,991千円)</p> <p>地域の公民館の良好な環境を維持することで、地域コミュニティ形成の場としての機能を確保した。</p> <p>(主な内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各地区の公民館の維持管理 施設補修(10件) 修繕工事(4件) 施設消防設備等点検委託(20件) <p>(3) 地域ぐるみの学校支援推進事業(1,617千円)</p> <p>地域全体で学校教育を支援し、地域ぐるみで子どもの教育を推進し、地域の教育力向上などを図る取り組みとして、文部科学省の委託事業を受け、学校支援活動についての組織・体制を整備した。</p> <p>(事業内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「かほく市地域教育力活性化実行委員会」を設置 ・ 各中学校区単位に「高松・七塚・宇ノ気地域教育力活性化本部」を設置 ・ 各地域の活性化本部に地域コーディネーターを配置 ・ 新規の学校支援ボランティアの募集を実施 <p>(4) 各種団体補助負担金(7,367千円)</p> <p>市内12の団体組織に社会教育的活動を支援するため補助金を交付した。</p> <p>(主な交付団体)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 女性協議会 ・ 各種女性団体連絡協議会 ・ 子ども会連絡協議会 ・ 文化協会 ・ PTA連合会 ・ 国際交流協会
----------------------------	--

地区公民館は、地域の自治公民館として、地域の主体性を尊重しながら、地域づくり、青少年の健全育成など、地域住民間の活動の支援を行った。また、老朽化した施設が多く、限られた予算の中、施設・設備の修繕を行い、適正な維持管理に努めた。

今後は、各施設の老朽化に伴う修繕が予想され、区・町会との公民館のあり方、方向性も含めて協議・検討が必要であると思われる。

放課後子ども教室推進事業は、今までスポーツや文化芸術活動、地域住民の参画を得ての異学年交流を目的として週1回実施し、子どもの安全・安心な居場所づくりに効果を挙げている。しかし、各種スポーツクラブや習い事などとの兼ね合いから高学年児童の参加が減少傾向にあること、また、平成21年度から一部先行実施される新しい学習指導要領による授業時間数の増加によって4年生以上の参加が見込まれない状況にあるなど、今後の事業のあり方、方向性を検討する必要があると思われる。

学校教育を支援するため、学校の活動に地域の方々をボランティアとして派遣する組織を設置し、登下校時の安全指導や学校環境の整備、部活動支援など、学校の要請に応じた様々な支援が行うことができる体制を整備した。

地域ぐるみで子どもを育てる体制を強化するため、引き続きボランティアの募集や市民への周知を行うとともに、新規のボランティア申請者には、速やかに学校での支援活動に入れるよう取り組んでいきたいと考えている。

放課後子ども教室推進事業、地域ぐるみの学校支援推進事業のいずれも、地域の大人と子どもの交流を図る地域支援型事業を推進することで、大人の子もたちへの関心を深め、地域や家庭の教育力の向上を図っていききたいと考えている。

3 豊かな心を育むための青少年教育の推進

主な 取り 組み	<p>(1) 成人式・立志式開催費（1,222 千円）</p> <p>成人式：成人の日を記念して新成人者が社会の一員となったことを自覚し、人として有意義な人生を歩んでいく決意を持って実社会へ門出ができるように祝い励ますことを目的に開催した。</p> <p>期 日 平成21年1月11日（日） 場 所 河北台中学校講堂 対象者：403人（うち参加者：312人）</p> <p>立志式：自分の将来に夢や希望を抱き、志を立て、目的意識をもった生き方を考える機会として、立志式及び記念講演会を開催した。</p> <p>期 日 平成21年2月3日（火） 場 所 河北台中学校講堂 対象者 371人（市内中学2年生） 内 容 各中学校生徒代表による意見発表 講演会 講師 羽喰 涼子氏 演題「言葉によって広がる世界」</p> <p>(2) 少年愛護センター事業（2,067 千円）</p> <p>少年愛護センター運営委員会を開催し、少年愛護員が街頭補導活動や有害環境浄化活動などを行い青少年健全育成に努めた。</p> <p>（主な事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 巡回補導 少年愛護指導員（月～金 15:00～17:00） 少年愛護員（年間12回 19:30～21:00） ・ 運営委員会の開催 ・ 愛護センター会議の開催 ・ 少年愛護センター会報紙「ふれ愛」作成 ・ 少年愛護看板作成 <p>(3) 市民憲章推進本部事業（生涯学習推進事業の一部）</p> <p>「交通安全・あいさつ運動」を展開した。</p>
----------------	--

評 価	<p>成人式・立志式は、次代のかほく市を担う青少年を祝福し、自覚を持ってもらう大切な事業であり、この式への参加を通じてかほく市に愛着を持ち、市や地域コミュニティづくりの核になることを願い式を開催している。厳粛な雰囲気の中、円滑な式典の進行ができた。</p> <p>成人式については、石川県立看護大学の県外出身（住民登録はかほく市）の学生が出身地の成人式に出席することもあり、対象者の77.4%の出席となっているが、市内3中学校出身者の参加率は80%を超えており、今後も高い参加率維持に努めていきたいと考えている。</p> <p>少年愛護センター事業では、大型ショッピングセンターのオープンにより青少年の非行が懸念された中、巡回コースを追加するなど巡回補導を強化したこともあり、特に問題は起きていないと思われる。今後も、夏場・冬場の巡回補導時間の検討、警察との連携を取りながら、青少年非行の防止と健全育成に取り組みたいと考えている。</p> <p>豊かな人間性を培う心の教育を推進するため、交通安全・あいさつ運動を実施している。しかし、青少年を取り巻く環境は依然として憂慮すべきものがあることから、引き続き多くの市民が参加できる取り組みを通じて市民意識の高揚を図ることが必要であると考えている。</p>
--------	--

4 男女共同参画社会の実現に向けた啓発活動の推進

主な 取 組 み	<p>(1) 男女共同参画社会推進事業（234 千円）</p> <p>市民向けの啓発活動を行うことにより男女共同参画社会に対する意識を形成し、理解を促進した。</p> <p>（事業内容）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ こども夢サミット パネルディスカッション ・ 絵画コンクール作品募集(市内中学生より162点の作品が出展) 入賞作品は、生涯学習フェスティバルに展示し広報に掲載 ・ 基調講演会～共同参画で未来の見える人生を～ ・ お父さんの料理教室（そば打ち体験） <p>(2) 女性センター運営事業（243 千円）</p> <p>各種講座などを開催することにより学びの機会を提供し、市内女性の福祉増進を図った。</p> <p>（主な事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 女性教養講座の開催 <ul style="list-style-type: none"> 健康体力づくり講座 4回 IT講座 4回
-------------------	--

評 価	<p>男女共同参画社会基本法第9条及び第16条の規定により義務付けられている男女共同参画社会の形成の促進に関し、男女共同参画社会の実現を目指すため、教育委員会として市民の意識啓発に向けた講座、講演会並びに広報活動に取り組んでいる。今後も、参加しやすい環境づくりを行い、市民の意識啓発の向上に取り組んでいきたいと考えている。</p> <p>女性センター運営事業として、女性の地位向上と積極的な社会参加の促進に資することを目的に、女性を対象とした講座を実施した。今後も、ニーズに応える講座を開催していきたいと考えている。</p>
--------	--

5 国際社会に対応するための国際理解教育の推進

主な 取 組 み	<p>(1) 国際交流事業（10,246 千円）</p> <p>ドイツのメスキルヒ市との相互訪問などにより異文化に対する理解を深めるほか、国際交流員を配置し、市国際交流協会との連携による国際理解教室及び語学教室などを開催することにより市民の国際感覚の育成を推進した。</p> <p>（主な事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 姉妹都市交流事業（青少年派遣） <ul style="list-style-type: none"> 期 間 平成20年9月14日（日）～24日（水） 派遣訪問団員 19人（中学生15人、引率者4人） 事業経費 4,600 千円 青少年派遣に併せ、市国際交流協会による成人交流訪問団4人を派遣 ・ 国際交流員の配置 <ul style="list-style-type: none"> 国際交流員1人を配置し、園児から成人を対象に異文化理解教育を推進
-------------------	---

評価	<p>当該事業は平成16年7月に姉妹都市提携の再調印を行った際、隔年で青少年の相互訪問も行うと位置づけされており、平成20年度は青少年の派遣を実施した。</p> <p>メスキルヒ市の同年代の子ども達との交流を通じて両市の相互理解と交流を促進し、併せてかほく市の中学生の国際的視野を広げ、国際協力の精神を養い、これからのかほく市を担うにふさわしい青少年リーダーを育成することができた。</p> <p>今後は、姉妹都市交流事業を企画・実施するにあたり、今まで以上に市民や市民団体の積極的な参加を得ることを目指し、市民の国際理解を深める方策について、かほく市国際交流協会と連携しながら模索していく必要があると考えている。</p>
----	---

6 生きがいづくりに向けた文化活動の推進

主な 取り 組み	<p>(1) 生涯学習推進事業(4,297千円)</p> <p>市民の学習活動の成果の発表の場としての生涯学習フェスティバルを開催した。 また、市民講座や職員出前講座に加えて、市民憲章推進事業を実施した。</p> <p>第5回生涯学習フェスティバル</p> <p>期 間 平成20年11月1日(土)～2日(日)</p> <p>会 場 河北台中学校講堂、河北台健民体育館など</p> <p>内 容 芸能発表会、各種展示会、リ-マーケット、囲碁・将棋大会、図書館まつり</p> <p>記念講演 講師：桂文珍 演題「落語的学問のすすめ」</p> <p>併せて市健康まつり(健康福祉課主管)を開催</p> <p>地域女性講座(町会区会単位)</p> <p>出前講座(講師は市職員)</p> <p>天体観望会の開催</p> <p>(2) 女性センター維持管理事業(2,838千円)</p> <p>施設の適切な維持管理を行うことにより市民に安心して安全に利用できる生涯学習活動の場を提供した。</p> <p>(主な事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 屋上(防水)修繕工事 <p>(3) 生涯学習センター維持管理事業(18,868千円)</p> <p>施設の適切な維持管理を行うことにより市民に安心して安全に利用できる生涯学習活動の場を提供した。</p> <p>(主な事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 天体望遠鏡修繕 ・ 空調設備取替修繕 ・ 非常用自家発電設備取替工事 <p>(4) 勤労青少年ホーム維持管理事業(6,618千円)</p> <p>施設の適切な維持管理を行うことにより市民に安心して安全に利用できる生涯学習活動の場を提供した。</p>
----------------	---

評価	<p>様々な学習意欲を持つ市民に対して、学習活動の成果の発表の場としての生涯学習フェスティバルを開催し、また、市民講座や職員出前講座に加えて、市民憲章推進事業を実施することにより市民の学習意欲の向上を図ることができた。</p> <p>市民の生涯学習の場として提供するため、高松女性センター、七塚生涯学習センター、七塚勤労青少年ホーム、宇ノ気勤労青少年ホームの適切な維持管理を行った。引き続き、市民の学習意欲の向上と学習成果を地域で活用できるよう支援していきたいと考えている。</p>
----	---

7 子どもの豊かな心を育むための読書活動の推進

主な取り組み	<p>(1) 図書館一般管理費（27,537千円） 市内の3図書館及び石川県西田幾多郎記念哲学館図書室の蔵書データを一元管理する電算システムにより日常管理及び保守点検を的確に行い、利用しやすい図書館サービスを提供した。</p> <p>(2) 図書館運営事業（11,376千円） 図書館の利用者に対して、時代にあった資料及びニーズに応える資料を適切に収集し、読書を通しての生涯学習の推進を図った。</p> <p>（図書資料など購入数）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図書購入 6,128冊 ・ 視聴覚資料購入 111点 <p>（主な事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館まつりの開催（生涯学習フェスティバルと共催） ・ 各種お話会 41回 ・ ブックスタート 24回 ・ お話ボランティア養成講座 2回 ・ 図書館講演会 1回
--------	--

評価	<p>市立図書館では、市民の多様な学習を支援するため、図書の充実に努めるとともに、利用者の利便性を高めるため、市内の3図書館及び石川県西田幾多郎記念哲学館図書室の蔵書データを一元管理する電算システムによる蔵書検索、予約システムを導入し、利用しやすい図書館サービスを提供している。</p> <p>また、各種お話会の開催、図書館まつりの開催、ブックスタートなどの取り組みにより図書館が身近に感じられるように心がけている。</p> <p>今後とも図書館の利用者に対して、時代に合った資料及びニーズに応える資料を適切に収集し、読書を通しての生涯学習の推進を図っていききたいと考えている。</p>
----	---

8 地域文化を育み、郷土愛を培う活動の推進

主な
取り
組み

(1) 西田記念哲学館運営事業（6,937千円）

哲学者西田幾多郎の遺徳を顕彰し、西田幾多郎に関する資料の展示並びに哲学に関する企画展、講演会及び講座を開催することにより生涯学習の機会を提供した。

- ・ 哲学館入館者数 18,810人（うち展示室観覧者数 6,032人）
- ・ 西田幾多郎書斎「骨清窟」定期公開 151人
- ・ その他哲学館外事業（出前講座その他）733人

（主な事業）

- ・ 哲学館運営委員会の開催 2回
- ・ 県民大学校 全12回+野外学習1回
- ・ 寸心読書会 全11回
- ・ 市民講座 全5回
 - 「はじめての西田哲学」
 - 「書に見る西田先生の想い」
- ・ 特別企画「農のいとなみ 耕すところ」
 - 講演会 全4回
 - 映画上映会 3回上映
- ・ 禅文化体験会 1回
- ・ 映画「ガイアシンフォニー 第三番」4回上映
- ・ 哲学カフェ 全16回
- ・ 機関紙「哲学館ニュース」第9号・第10号発刊
- ・ 『点から線へ』53号・54号発刊
- ・ 『寸心読本』増刷

(2) 西田記念哲学館維持管理事業（30,122千円）

石川県西田幾多郎記念哲学館、旧西田記念館及び西田幾多郎書斎の適切な維持管理を行うことにより市民を中心とする人々が安心して安全に利用でき、哲学を通じた生涯学習活動の場を提供した。

(3) 総合交流促進施設運営事業（440千円）

市民などの施設利用者に対して、漁具の見学及び市民ギャラリーの鑑賞に加えて、キャンプ場及びバーベキュー場などのレクリエーション場を提供することにより人々の交流活動を促進した。

- ・ 博物館展示室観覧者数 15,134人
（うち市民ギャラリーうみっこ入場者数10,716人）
- ・ キャンプ場利用者数 4,135人
- ・ バーベキュー場利用者数 5,510人

（主な展示会：「市民ギャラリーうみっこ」の開催・運営 45回）

- ・ かほく市生け花協会 生け花展
- ・ かほく市書道協会 作品展
- ・ かほく市こども写生展 市内小学生
- ・ かほく市陶芸協会 作品展
- ・ 私の作品展

(4) 総合交流促進施設維持管理事業（18,118千円）

施設の適切な維持管理を行うことにより市民を中心とする人々が安心して安全に利用できる交流の場を提供した。

主な 取 組 み	<p>(5) 文化財保護事業（7,177 千円）</p> <p>文化財の整理・保存・公開を通じて広く文化財保護を周知し、地域の歴史や文化に対する理解を深め、郷土意識の高揚を図るため、市指定文化財の保護・管理を実施した。</p> <p>（主な事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 文化財保護審議会の開催 ・ 市指定文化財（天然記念物）管理（しだれ桜、つつじ園、ハマナス） ・ 上山田貝塚 <ul style="list-style-type: none"> 案内看板修繕 芝生管理業務委託 ・ 大海西山弥生の里 <ul style="list-style-type: none"> 芝生管理業務委託 樹木管理業務委託 復元竪穴住居茅屋根葺き替え工事 浄化槽取替工事 <p>(6) 埋蔵文化財調査事業（14,428 千円）</p> <p>市内企業の敷地造成計画に伴う若緑イナバ山窯跡発掘調査を実施した。</p> <p>（主な事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 発掘作業調査 ・ 遺物整理業務委託 ・ 空中写真測量業務委託 ・ 熱残留磁気年代測定業務委託 ・ 発掘調査用機械借上
-------------------	--

評 価	<p>西田幾多郎記念哲学館では、入門者・初心者向けの「市民講座」、中級者・上級者向けの「西田幾多郎哲学講座」、じっくりと哲学書を読み進める「寸心読書会」を開催している。それぞれの講座でターゲットとなる利用者層を変えることに心がけて企画している。</p> <p>また、特別企画は、哲学に興味がある人はもちろん、哲学に興味がない人たちをも哲学館に呼び込むことを目的として実施し、平成20年度は農業をテーマとしたため、農業関係者の参加が多数あり、新しい利用者層の開拓につながった。</p> <p>平成20年度から喫茶室で講座講師を囲んで哲学について討議する「哲学カフェ」を新規に開始し、講座参加者からも「気楽な場で直接講座講師を語り合えるいい機会」と好評の声をいただいている。</p> <p>哲学館の収蔵品及び西田幾多郎書斎においては、燻蒸（害虫駆除・殺卵）など収蔵品などの適正管理を行い、日常管理においても湿度管理を行うことで収蔵品などの防菌を行うことができた。</p> <p>総合交流促進施設（うみっころんど七塚）では、市民などの施設利用者に対して漁具の見学及び市民ギャラリーの鑑賞に加えて、キャンプ場及びバーベキュー場などのレクリエーション場を提供し、人々の交流活動を促進できた。</p> <p>歴史・文化を反映した有形・無形の文化財の適切な保存・管理に取り組んだ。</p> <p>また、児童生徒の学習教材の充実、地域の歴史に触れる憩いの場としての機能充実のため、大海西山弥生の里にある復元竪穴式住居の茅屋根葺き替え工事や上山田貝塚の説明看板修繕を行ったが、引き続き市民が地域に対して愛着や誇りが持てるよう文化財の公開・活用に努めていく必要があると考えている。</p> <p>開発行為などに伴う埋蔵文化財の調査について対応した。今後とも引き続き、関係機関との連絡調整を密にするなど効率的な調査に努め、調査要望に対応していくとともに、適切な記録保存を行っていく必要があると考えている。</p>
--------	---

施策3 市民一人一人が自主的にスポーツに取り組み、健康で豊かな生活ができるよう生涯スポーツの実現を目指して

【体育振興課】

1 生涯スポーツ活動の推進

主な 取 組 み	<p>(1) 体育指導委員の各種研修会の参加事業（349千円） 地域住民に対し、スポーツの実技指導助言を図るとともに、各種研修会に参加し体育指導委員としての資質向上に努めた。 全国体育指導委員研究協議会に参加した。（千葉市）4人参加 北陸体育指導委員研修会に参加した。（佐渡市）4人参加 石川県体育指導委員研修会に参加した。（能美市）13人参加</p> <p>(2) ふれあいウォークの開催（30千円） 期 日 平成20年4月20日（日） コー ス 七塚中央公園～西田記念哲学館～白尾灯台～七塚中央公園 参加人数 120人</p> <p>(3) スポレクサーキット大会の開催（185千円） 開催回数 年3回 （第1戦：ラージボール卓球、第2戦：ビーチボールバレー、第3戦：室内ペタンク） チーム数 一般男子12チーム、一般女子12チーム、少年少女7チーム</p> <p>(4) 生涯スポーツ振興事業の開催（1,029千円） 高齢者の体力、健康増進を図った。 第15回能登地区健康クラブ交歓大会を開催した。 期 日 平成20年5月14日（水） 場 所 河北台健民体育館 1,405人参加 石川県健康クラブ交歓大会に参加した。 大型バス3台、中型バス2台による輸送 （金沢市）212人参加</p> <p>(5) 総合型地域スポーツクラブ（クラブパル）への助成（2,100千円） かほく市におけるスポーツの普及・振興のために様々な教室運営や事業を行った。 キッズコース14、ジュニアコース9、アスリートコース5、エンジョイコース16、スタジオ教室22、他に文化教室・セミナーの開催</p>
-------------------	---

評価	<p>各研修会の参加により体育指導委員としての資質向上に努めた。</p> <p>レクリエーションスポーツを通して、市民のスポーツ参加へのきっかけ作りのほか、スポーツ団体その他の団体の行事などの運営に積極的に参画し、市スポーツ振興に寄与した。</p> <p>高齢者健康クラブでは、毎週金曜日に、高松（60人）七塚（69人）宇ノ気（82人）健康クラブが定期活動（練習）交歓大会などを通して交流を図った。また自己の体力度チェックとしてメディカルチェックに参加し、一人一人の体力・健康保持に努めた。</p> <p>河北台中学校区におけるスポーツ・文化活動の振興を通して、子どもたちの健全育成及び地域コミュニティの拡大を図っており、生涯スポーツ・健康づくり及び生涯学習の発展に寄与した。</p>
----	--

2 児童生徒の体力・運動能力の向上

主な取り組み	<p>(1) スポーツ少年団育成事業（2,232 千円）</p> <p>青少年の体力向上及び心身の健全な育成を図った。</p> <p>団員数 979人（40団体）</p> <p>指導者数 194人（公認スポーツ指導者）</p> <p>主な事業 市スポーツ少年団開講式（4月）</p> <p>スポーツ指導者講習会（5月）</p> <p>市スポーツ少年団フェスティバル・閉講式（2月）</p>
--------	--

評価	<p>市内児童の約42%がスポーツ少年団の定期活動を通じて少年少女の仲間づくり、体力・技術力の向上及び青少年健全育成が図られた。</p> <p>スポーツ少年団活動を通して、ジュニア期における体力・技術力の向上を図るためには、指導者として専門的な知識・技能や高いコーチング能力が求められる。そのために、スポーツ指導者講習会などを実施し、安全な活動に心がけた。</p>
----	--

3 競技スポーツの充実・強化

主な取り組み	(1) 平成20年度全国大会出場選手等激励会の開催(1,083千円)
	開催回数 年4回{平成20年7月22日(火)、9月17日(水)、11月25日(火)、平成21年3月12日(木)}
	場 所 かほく市七塚庁舎 3階 大ホールほか 一 般: 監督・コーチ・選手 60人 高校生: 選手 50人 園児及び小・中学生: 選手 57人
	(2) 公認審判員(指導員)資格奨励金の実施(139千円)
	市内に居住する社会体育を実践する者又は実践しようとする者に対し、各種資格取得を奨励することにより社会体育の実践者としての資質を向上させ、社会体育の振興に寄与することを目的とする。
	公認審判員等取得者数
	種目等 トランポリン競技29人 陸上競技23人 ソフトボール競技7人 オリエンテーリング1人 ゲートボール2人 スポーツクラブ1人
	(3) 競技スポーツの各種大会の開催
	市民の体力向上及び日頃の練習の成果を発揮する場として、また、スポーツに親しむきっかけづくりの場として各種大会を実施した。
	石川県民体育大会へ参加(体育協会)
中心会期 平成20年8月2日(土)~3日(日)	
主 会 場 金沢市	
成 績 男子: 一般の部=第10位、壮年の部=第6位、総合の部=第8位 女子: 一般の部=第5位、壮年の部=第6位、総合の部=第6位	
石川県民体育大会に向けての市総合体育大会の開催及び各種競技大会へ参加 市体育協会加盟団体の強化発展と相互の連携の推進	
学童招待野球大会の開催(300千円)	
市外からの学童野球チームを招待し、技術の向上と交流を推進	
期 日 平成20年8月9日(土)~10日(日)	
会 場 高松野球場、宇ノ気野球場、金津ソフトボール場、七塚中央公園多目的広場	
チーム数 4チーム(市内)、12チーム(市外)	
市長杯争奪石川県ラージボール卓球大会(150千円)	
20代から80代と幅広い年齢層で加賀、能登の地域を越えてラージボール卓球競技を実施	
期 日 平成20年8月17日(日)	
会 場 かほく市河北台健民体育館	
チーム数 男子の部19チーム、女子の部10チーム	
サンドヒルグラウンド・ゴルフ大会を開催(905千円)	
期 日 平成20年8月31日(日)	
場 所 かほく市高松グラウンド・ゴルフ場	
チーム数 199チーム(995人)	
かほく市制施行記念継走大会を開催(451千円)	
市制施行を記念し、中学生から大人までが市内周回コースを4人で継走	
期 日 平成21年3月1日(日)	
コ ー ス 宇ノ気小学校~かほく市七塚庁舎 総延長 13.5Km 4区間	
部門及び チーム数 一般男子: 26チーム 一般女子: 6チーム 中学男子: 36チーム 中学女子: 23チーム 市外一般男子: 3チーム	

評価	<p>全国大会出場にあたり郷土出身のアスリートに対して、より一層の活躍を願い激励会を開催したことが大会での上位入賞の活躍の大きな原動力となった。</p> <p>社会体育実践者としての資質を向上させ、社会体育の振興に寄与した。</p> <p>各種団体との兼ね合いの関係で、種目によっては定期練習及び県体強化練習会場の十分な確保が難しくなっているが、連絡調整をしながら現状に至っている。</p> <p>石川県民体育大会の正式競技39種目中、32種目にエントリーしており、上位入賞のためにも参加種目を増やすよう努めている。</p> <p>地域間の融和と活力あるまちづくり及び広く市民全体の体力づくりに寄与するとともに、青少年及び健康的な市民の育成を推進する一助となっている。</p>
----	--

4 スポーツ施設の整備・充実

主な 取 組 み	<p>(1) 体育施設維持管理への主な取り組み</p> <p>25 体育施設（屋外 10 施設・屋内 15 施設）の維持管理を行い、安心してスポーツに親しむ場を提供した。</p> <p>芝生管理業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ うのけ総合公園芝生管理業務委託（2,480 千円） 芝生面積 A = 18,000 m² 対象施設 陸上競技場、野球場、児童館 ・ 高松運動公園体育施設等芝生管理業務委託（2,492 千円） 芝生面積 A = 14,200 m² 対象施設 野球場、陸上競技場 芝生面積 A = 12,400 m² 対象施設 中央広場、ふれあい広場、芝生広場 ・ 高松グラウンド・ゴルフ場芝生管理業務委託（4,555 千円） 芝生面積 A = 27,000 m² <p>新化館競技場床改修工事（2,888 千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 競技場（814 m²）の床改修工事 <p>(2) 宇ノ気体育館、新化館維持管理業務委託（5,500 千円）</p> <p>平成 18 年度より当施設の指定管理者として事業の運営効率化と施設の維持管理の充実に努めた。</p> <p>指定管理委託施設 宇ノ気体育館、宇ノ気新化館 指定管理者 NPO 法人 クラブレッツ</p> <p>(3) 河北台健民体育館 2 階トレーニングセンター運營業務委託（6,000 千円）</p> <p>体育館の 2 階トレーニング機器を活用し、多彩なメニューによる市民の健康づくりの場を提供した。</p> <p>運営受託者 総合型地域スポーツクラブ クラブパル 利用人数（年間） 12,897 人（トレーニングルーム） 7,472 人（スタジオ）</p>
-------------------	--

評 価	<p>芝管理業務により適正な施設の維持管理ができた。また、宇ノ気新化館の競技場の床の歪みの調整や、凹凸による怪我の防止のために床を改修したことによりラインも見やすくなり競技が行い易いと利用者から喜ばれている。</p> <p>指定管理者の設置により修繕箇所にも早急に対処し、利用者の安全を確保することができた。また、指定管理者としてスポーツ教室、セミナー、イベントなどの開催を幅広く展開し、いつでも、どこでも、気軽に参加できる環境がつけられた。</p> <p>河北台健民体育館 2 階トレーニングセンターでは、利用サービス回数券の効果もあり、有酸素機器 13 台、筋力トレーニング機器 10 台が大いに活用された。また、スタジオにおいても幅広い年齢層を対象としたメニューが展開され、トレーニングルームの利用人数は 12,897 人（対前年比 104.0%）、スタジオ年間利用者は 7,472 人（対前年度 159.5%）を数え、トレーニング効果が増したと同時に、市民への健康づくり向上への意識の高まりが見られた。</p>
--------	---

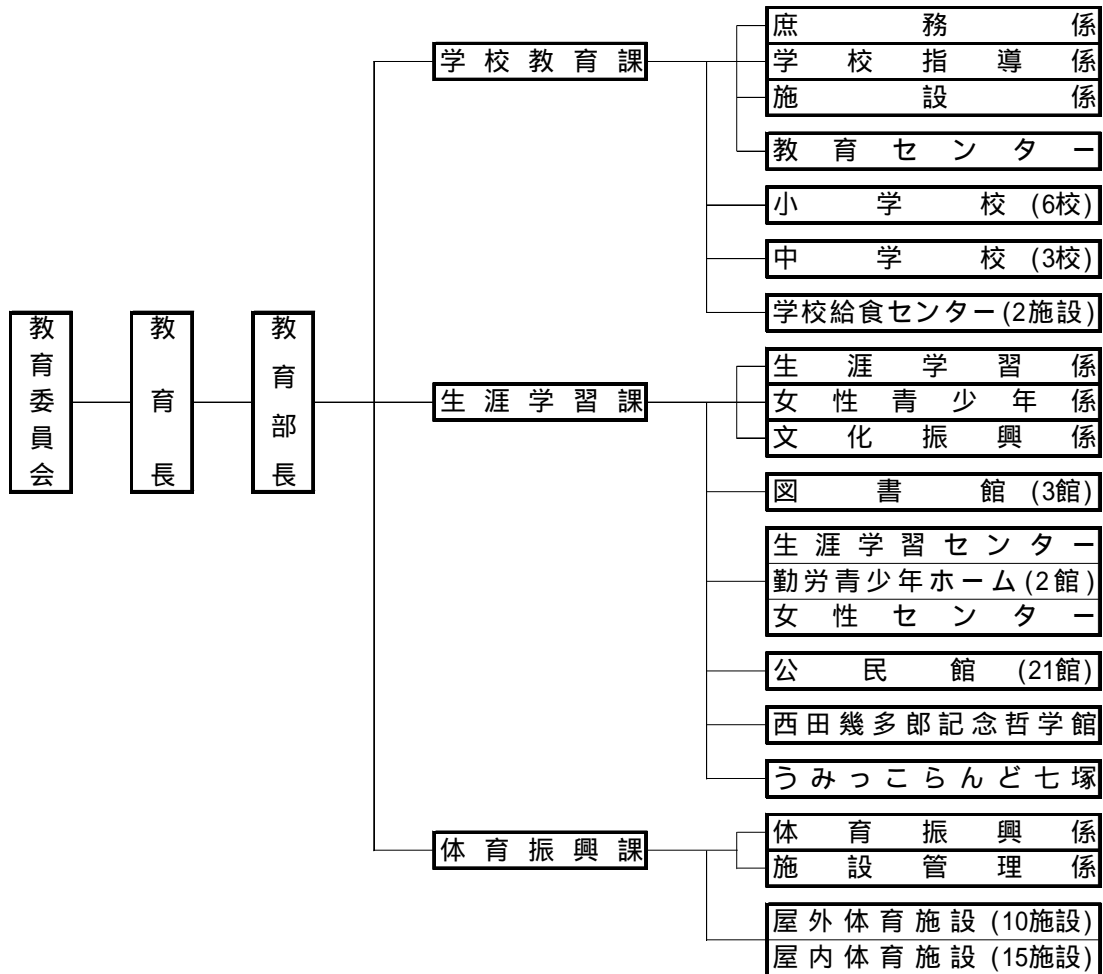
資 料

1 教育委員会委員

(平成21年11月11日現在)

職 名	氏 名	教育委員の任期
委 員 長	寺西 哲秀	平成20年4月28日～平成24年4月27日
委員長職務代理者	中田 節子	平成19年4月28日～平成23年4月27日
委 員	架谷 瞬華	平成18年4月28日～平成22年4月27日
委 員	松井 三枝子	平成21年4月28日～平成25年4月27日
教 育 長	遠田 敏博	平成20年4月28日～平成24年4月27日

2 教育委員会の組織



3 公立学校施設

(1) 小学校

(平成21年5月1日現在)

名 称	開設年月日	児童数
かほく市立高松小学校	明治 6 年	4 2 6 人
かほく市立大海小学校	明治 8 年 1 月	1 2 3 人
かほく市立七塚小学校	明治 6 年 7 月 4 日	3 5 0 人
かほく市立外日角小学校	明治 8 年 1 1 月 1 7 日	4 4 5 人
かほく市立宇ノ気小学校	明治 8 年 4 月 1 0 日	8 3 4 人
かほく市立金津小学校	明治 6 年 1 1 月	1 0 8 人

(2) 中学校

(平成21年5月1日現在)

名 称	開設年月日	生徒数
かほく市立高松中学校	昭和 2 2 年 4 月 1 日	2 7 1 人
かほく市立河北台中学校	昭和 2 2 年 4 月 1 日	3 9 4 人
かほく市立宇ノ気中学校	昭和 2 2 年 4 月 1 日	4 5 2 人

4 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第 2 7 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 3 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

平成20年度
かほく市教育委員会点検及び評価報告書

発行年月：平成21年12月

発行者：かほく市教育委員会

学校教育課 TEL 076-283-7136 / FAX 076-283-3643
E-mail : gakkou@city.kahoku.ishikawa.jp
生涯学習課 TEL 076-283-7137 / FAX 076-283-2894
E-mail : syougai@city.kahoku.ishikawa.jp
体育振興課 TEL 076-283-7138 / FAX 076-283-4242
E-mail : taiiku@city.kahoku.ishikawa.jp
教育センター TEL 076-283-7170 / FAX 076-283-2146
E-mail : kyouiku@city.kahoku.ishikawa.jp

〒929-1193 石川県かほく市浜北八6番地1(かほく市七塚庁舎内)

URL : <http://www.city.kahoku.ishikawa.jp/>